

「国立大学法人名古屋大学」としての第一日

今年は、それまで国の行政組織であった名大が、2004（平成16）年に国立大学法人として再出発して20周年にあたります。今回は、「国立大学法人名古屋大学」（現在は「国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学」）が発足した2004年4月1日の様子を見てみましょう。

まず8時30分、総長応接室にて第1回役員会が行われました。法人化前の名大では、総長、副総長、部局長、部局選出の評議員からなる評議会が実質的な意思決定機関でしたが、この日から総長と7名の理事による役員会がその役割を担いました。第1回役員会では、平野眞一総長から理事への辞令交付、役員及び役員会に関する規程の承認、この日の日程説明が行われ、23分で終了しています。その後、9時から豊田講堂第1会議室にて、総長が部局長等の長、総長補佐に辞令を交付しました。

ここからマスコミを入れて、10時からシンポジオンホールにて国立大学法人名古屋大学発足式、10時30分から本部1号館玄関前にて看板上掲式の後、10時45分か

ら本部第2会議室にて記者会見が行われています。

午後に入り、13時から総長室にて第2回役員会を20分ほど開催、すでに法人化前の評議会です承されていた、300近くの学内規則案、中期目標・中期計画案、2004年度予算案の確認などが行われました。

そして14時10分から総長室にて第1回教育研究評議会が行われました（役員である評議員のみ出席）。教育研究評議会は法人化前の評議会から移行し、法人化後は教学面を審議する機関となりました。14時40分から本部第1会議室にて部局長会の後、15時から同室にて第2回教育研究評議会が行われ（41名の評議員出席）、学内規則案、中期目標・中期計画案などが審議されました。これらは4月5日の第3回役員会で最終決定しています。

最後に、17時からユニバーサルクラブにて懇親会が行われて、法人化一日目が終わりました。



- 1 第1回役員会の様子。規程上の構成員である平野総長と7名の理事のほか、事務局の各部長、総務広報課、企画課、人事労務課、財務課の各課長、その他本部関係職員が出席した。
- 2 国立大学法人名古屋大学発足式。
- 3 看板上掲式の様子。左から山下廣順理事、平野総長、中島泉理事、若尾祐司理事。
- 4 記者会見の様子。
- 5 4月3日に名古屋市内のホテルにて開催された第1回経営協議会（当時の委員18名）の様子。法人化に伴い、経営面を審議する機関として新設された経営協議会は、国立大学法人法の規定により、委員の半数以上（現在は過半数）を学外から任命する必要があった。

名古屋大学の卒業生、
現役・退職後の教職員の方々に

名大史をつむぐ資料を
大学文書資料室に!



■ 在学時の配布物

（学生便覧、シラバス、試験問題、課外活動の資料…）

■ 教育・研究活動、大学・部局運営に関する資料

（各種書類、会議のメモ、備忘録、スクラップ記事、写真…）

■ 校費による印刷物・刊行物

（冊子、パンフレット、ポスター…）

■ ご退職関係の記念冊子・記念論集・業績集… など

※その他、ご処分予定の資料についても、まずは下記へご一報ください。

東海国立大学機構大学文書資料室

TEL 052-789-2046

Mail nua_office@cc.nagoya-u.ac.jp